

2023 5/1



<http://kisokobe.sub.jp/>

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 (携帯 070-5045-7127)
 【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区御所台5-1-101
 Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
 E-mail:kiso@mbe.nifty.com
 【石巻支所】 阿部とよ子
 〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
 【熊本支部】 大島健二郎
 〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
 【千葉支部】 嶋田博信
 〒294-0234 千葉県館山市布良303
 年4回 2月、5月、8月、11月
 購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

トルコ・シリア地震2023年2月6日午前4時過ぎ、カフランマニマラシユ県を震源とするマグニチュード7.7発生。シリア国アレッポからすぐに緊急電話。「カヨコ・チルドレン・ホーム」を世話をする夫婦から連絡が入った。現地で死者5万2000人以上が犠牲である。「カヨコ基金」は次号の発行までに現地に赴く。救援金を携え、「カヨコ・チルドレン・ホーム」をゼロから建設する。シリアとは2011年、東日本大震災が起こった年から支縁が始まっている。

▼宗教戦争はもういや

神戸国際支縁機構の国際版「カヨコ基金」(佐々木美和代表)は海外ボランティアの一貫として、養護施設を10カ国のある地域でつくっている。¹ インドネシア国バルの地震現場に、翌々日に神戸市も応援してくださり、現地に入つた。インドネシアでは、1998年から2001年にキリスト教とイスラーム教は戦争を行つた。そのことを教訓にもう二度と戦争はこりごりと言うインドネシアの人々の声を何度も聞いた。

第1次シリアボランティアに2017年、單身向かつた。シリアはアジア、ヨーロッパ、アフリカの3つの大陸の分岐点にあた

2月6日午前4時過ぎ、カフランマニマラシユ県を震源とするマグニチュード7.7発生。シリア国アレッポからすぐに緊急電話。「カヨコ・チルドレン・ホーム」を世話をする夫婦から連絡が入った。現地で死者5万2000人以上が犠牲である。「カヨコ基金」は次号の発行までに現地に赴く。救援金を携え、「カヨコ・チルドレン・ホーム」をゼロから建設する。シリアとは2011年、東日本大震災が起こった年から支縁が始まっている。

軍需国家の介入が諸悪の根源

アメリカ、英国、イスラエルは「イランが悪」と一辺倒である。イランと仲が良いからシリアのアサド政権、レバノンの穏健なヒズボラ政権³、テロを支持するアサド政権はけしからんと米軍は空爆をし、駐留をし続ける。いつまでも和平が実現しない。シリアで起こった「イスラム国」(ISIL)にしても米軍の武器供与により恐ろしいテロ誕生につながった。2011年、「アラブの春」⁴をけしかけたのは英米、フランスである。紛争が解決しない歴史的真実を西側のメディア、学



第4次シリア・ボランティア
孤児たちと 2018年9月4日

者、専門家は説き明かす責任があると現地でつくづく思わせられる。

る。筆者は政治のことはよくわからず、孤児、夫をなくした独身女性、高齢の独居者に寄り添う目的で中東に入った。1970年にキリスト教であつたレバノンにパレスチナ人が増えたため、イスラエルがレバノンに侵攻した。するとキリスト教とイスラーム教が1999年まで泥沼のように内線で明け暮れることになった。私はレバノン国に入った。現地で出会うキリスト教徒、イスラーム教徒と話してみると、もう二度と戦争はいやだと言う。インドネシアと同じ「戦争、NO」である。雨降つて地固まる式に、家族同士、親戚同士、学友同士が血を流した地獄体験がノーモア戦争に決意させた。相手の宗教にも寛容になつていていた。イラクにしてもシーア派



シリア国アレッポ 天文台付近 2023年2月6日
アレッポ支部ネル・リーさん撮影

とスンニ派が仲たがいしているから、米軍の駐留が必要だという声はだれからも訊かなかつた。イスラーム教徒はキリスト教会の礼拝に出席する。キリスト教徒もモスクで祈る。かつてのような境界線はないのに触れた。異なる宗教であつても学校、仕事場は同じだし、結婚も自由になされていた。トルコ・シリア、とりわけシリアに皆さまのご支縁をお願いします。

2011年は巡り合わせの年

3 ヒズボラは元来の宗教的な基盤であるシーア派だけでなく、キリスト教や他の宗派や所属の人々からも一定の支持を得るようになった。2014年の調査によれば、レバノン国内のキリスト教徒のうち31%がズボラに対し良いイメージを持っています。

4 2011年、「アラブの春」という民主化運動により、内戦に陥つた。シリア、リビア、イエメンは、国民の多くが飢餓に苦しみ、人道危機に陥つている。テロが発生する温床となつた。2011年、私たちの国内ボランティアが宮城県石巻市渡波で始まった年。

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-1
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1



2023年4月18日 福岡県朝倉市杷木松末の乙石

2017年7月の豪雨で、朝倉の松末は、関連死1名を含めて40名が死亡、行方不明2名。神戸国際支縁機構にとり日本の災害の原点と考えている。国交省傘下の気象庁は「線状降水帯」なる原因、実体、予測がまつたくできない天候変化について取り沙汰するようになつた時であつた。7月7日に杷木中体育館での炊き出しを通じて、命からがら山から逃避された松末の人々と家族以上に親しくなつた。国は復旧工事を直轄で担つた。あれから先月までの5年間、総額約597億円の税金を使つたにもかかわらず3月末でさじをなげた。砂防ダムを乙石川の6基を含めて30基も作った。梅雨前だというのに工事を放り投げた。3月30日、国交省に感謝の記念会をしたというからあきれかえる。あの美しかった段々畑の農地は帰つて来ない。朝日新聞(3月30日付)では、完了したのは全体の三分の一というではないか。

第37次球磨川水害ボランティア

2023年4月18日

大島健二郎

手紙

桃の花咲く季節となりました。
お変わりなくお過ぎの事と存じます。
いつもウリハッキヨの子供達の為に温かい
ご支援を下さり有難う御座います。
お陰様で子供達は毎日楽しくも忙い
学校生活を送っております。
今年度もたくさんのお手伝いを企画しておりますので
是非ウリハッキヨ遊びに来て下さい。
お高い出来を日々楽しみしております。
敬具

東北朝鮮初中級学校 才モニ会一同



31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



Spirit & Technology

医療法人社団 湯川胃腸病院

消化器内科・結腸膣科・消化器内視鏡・結石外科

この痛みを止め、息を止める
効力を失う。力を失つて
全く動けなくなる。院地と駅舎

開院時間 8:00~11:00
13:00~17:00
休診日 土曜日・日曜日

〒 543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号
TEL:06-6771-4861 FAX:06-6771-4882

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

Tel: 03-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.miyoishi-yushi.co.jp>

夢に近づく
夢を産み出す…

KS 近畿産業信用組合

総合センター
0120-111-019

2017年7月の豪雨で、朝倉の松末は、関連死1名を含めて40名が死亡、行方不明2名。神戸国際支縁機構にとり日本の災害の原点と考えている。国交省傘下の気象庁は「線状降水帯」なる原因、実体、予測がまつたくできない天候変化について取り沙汰するようになつた時であつた。7月7日に杷木中体育館での炊き出しを通じて、命からがら山から逃避された松末の人々と家族以上に親しくなつた。国は復旧工事を直轄で担つた。あれから先月までの5年間、総額約597億円の税金を使つたにもかかわらず3月末でさじをなげた。砂防ダムを乙石川の6基を含めて30基も作った。梅雨前だというのに工事を放り投げた。3月30日、国交省に感謝の記念会をしたというからあきれかえる。あの美しかった段々畑の農地は帰つて来ない。朝日新聞(3月30日付)では、完了したのは全体の三分の一というではないか。

第141次東北ボランティア

2023年4月11日

堀 浩一

かの地では桜が咲き始め、ゴールデンウィークでも花見を楽しめる。一年経つとずいぶん成長したなあと、新一年生3人を紹介していただいたとき、チヨウチュスン君(2年生)を見ながら思わずられた。ウリハツキヨで立派に成長している。新入生を見ると、中学生たちは背もかなり伸びたなあとよくわかり、目を細めた。

一年生も重たい神戸からの支縁物資を運ぶ積極的なけなげさに感動した。クリスマスケーキなどを届けたことに「オモニ(朝鮮語母親)会」から感謝のメッセージが届いた。





石巻日日新聞

岩村理事長（中央）らが齋藤市長を訪ね、支援活動の原点を語った



ボランティアの原点は石巻

神戸国際支縁機構

12年で活動140回

兵庫県神戸市から右
市を訪ね、継続的に
震災ボランティア活動
を行う一般社団法人神
戸国際支縁機構（岩村
義理理事長）が口日

右巻市の齋藤正美市長一人で来て、作業後に市
役所を訪問。齋藤市長
や農業体験など140
回以上に及ぶ活動を報
告し、これからも継続
する考えを伝えた。
同機構は平成13年に
発足。難民支援や被災
地でのボランティア活
動を行っており、23年
の東日本大震災は発災
後から石巻で支援活
動を展開してきた。そ
こから毎年足を運んで
渡波地区の孤高高齢者
宅の訪問、長浜幼稚園
の園児との農業体験な
どを今も継続している。
この日は農業体験の事
前準備として「田起」
（こし）を行ったために6

再び石巻を訪れ、長浜
幼稚園の園児たちと田
植え作業を行つ予定。

【震災特集】

141回目の石巻訪問 『石巻日日新聞』(2023年4月13日付)

手元の系図の写では清経について次の通りに記されている。

「清経・左中将 平氏滅亡ノ後清経従臣等數十人ト九州肥後國白鳥山ニ隠レ日月ヲ過スト雖モ糧食足ラス白水峠ニ出テ掠ム 依テ梢ク露命ヲ全フスその後元暦元年正月十八日豊後國緒方左馬介カ婿ト成リ緒方市郎清國ト称ス同年十月源氏ノ追討ヲ懼レ左馬介カ邸ヲ出文治元年再ヒ白鳥山ニ隠レ遂ニ出ス同年十月有二十日歿ス」
すなわち、平重盛の三男・清経（清国）一行は源氏方の追討の追つ手から逃れて隠れ住むにはよい場所にたどり着いた。しかし、九州山地のど真ん中で人跡まばらな険しい山中であるために、食料の確保に難儀していたのである。中でも塩の確保が困難であったと古老から聞いた事がある。特に海岸や人里から遠く、往来する人も少ない山岳地帯であるため人に目を避けたりして山の斜面を開いて住処をこしらえ、山菜や獸を狩つて食料に当たたが、調達に不自由してやむなく数馬と同様の山賊稼業をしなければならなくなつた。それにによって旅人を襲つて露命（生命）をつないできたことが記されている。

平清経は元暦元年（西暦一一八四年）（838年前）緒方惟義（左馬介）の娘を娶り源氏の追つ手から逃れたために、名も緒方市郎清國と改め、緒方左馬介惟義の館を同年一月に出発して白鳥山に入り、同年十月二十日に亡くなつたと記録されている。

清経は一一六三年生まれとされているので、五家荘で二十一歳にして亡くなつたということになる。しかし、大分県宇佐市の柳ヶ浦で入水自殺を遂げたという説があり、駅館川河口付近に五輪の塔及び慰靈碑が建てられている小松塚があるという。

清経の最期には諸説あるが、五家荘惟原緒方の系図では前記の通りの記述がなされている。このようにして清経一統の子孫が白鳥山麓に住み着き細々と生命を繋いできた。

惟原緒方家の系図によると、清経の跡（二代目）を継いだのは盛實とされているが、これは前記の通りの記述がなされている。

「平家ノ再興ヲ謀リ從臣ト白水峠ニ出テ糧食ヲ掠メ誤テ創ア蒙リ文治三十二年七月十四日歿ス」と付記されているので、一二一七年食糧を調達のために家来とともに山賊行動を行い、戦闘で負傷したことで死亡したのである。このように五家荘で生きてゆく事はまさに命がけの所業であった。

（なお文治の年号は一一八五年から一九〇〇年までであるが、人里離れて住んだ落人たちは世の移り変わりがわからず、自分たちが隠遁生活を始めたときから年号で年を数えていたのであつた。）

141回目の東北ボランティア

代表 村上裕隆

2023年4月9～12日

あの大津波が宮城県石巻市渡波を襲つてから、農地に立ち向かつて12年。すべてがわかつたわけではないが、この国は滅びるとわかつてきました。かつては農家の方が必ず田んぼにいた光景は過去のものになつていて。10時や3時には、お茶つこの談笑が聞こえたものだ。ここ東北だけでなく、九州も他の地でもお百姓さんの姿は消えている。今の農家の人たちは自分の農地がどこかわからないのが普通になつてゐる。なぜなら農業をやめているからだ。コンバインなどの機械は高すぎる。おまけにウクライナ戦争のあおりで機械のメンテナンス、油代、肥料は2倍になつていて。1袋（30キロ）で5千円では赤字になる。農家の息子や娘は言う。「お父さん、田んぼを残して死んだら困るよー」と。農地も



売れない。かつて1反600万円したのが、今では35万円だから買い手がつかない。米の単価を一時的に上げても解決できない。酪農にしても、乳牛から量の乳製品をアメリカから輸入している。自動車などの製品を輸出するためには、第一次産業の農林漁は切り捨てられている。軍備を拡大しても国を守れない。国の安全は「食料安保」にかかる。第一次産業の農林漁は切り捨てられない。中でも塩の確保が困難であったと古老から聞いた事がある。特に海岸や人里から遠く、往来する人も少ない山岳地帯であるために人に目を避けたりして山の斜面を開いて住処をこしらえ、山菜や獸を狩つて食料に当たたが、調達に不自由してやむなく数馬と同様の山賊稼業をしなければならなくなつた。それに隠れ住むには最良の地であるが、平地はないので山の斜面を切り開いて住処をこしらえ、山菜や獸を狩つて食料に当たたが、調達に不自由してやむなく数馬と同様の山賊稼業をしなければならなくなつた。それによつて旅人を襲つて露命（生命）をつないできたことが記されている。

【眞平家物語】五家荘の先祖（第七回）

熊本県球磨郡相良村教育長 緒方俊一郎

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区練3丁目8番12号



代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区練3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



「ヒューマニティ・ファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161



事務局便り

事務局長 本田寿久

災害 布良

2019年9月9日、台風で屋根の瓦が兵器として襲って来た千葉県布良。

漁ボランティアなどに仕えてきた。早朝から2隻の漁船が漁に出たが、収穫はゼロ。理由は、なんでも地球温暖化とみなす傾向がある。しかし、沖浦宏隆船長は言う。「水温がもう少し上がらないとぜんぜん釣れない」と。素人は、温暖化、乱獲、隣国トロール船の出没と聞かされると信じてしまう。しかし、真実は異なる。山の上流から流れてくる河川が元凶だと気づかないと日本は手遅れになる。海に山からの栄養源が届いていない。深刻な原因についてこそメディア、学者、官僚はとりあげるべきである。生態がこわれているのだ。コンクリートの三面壁で直線の河岸では腐葉土が生み出す魚などの餌が一切里海に流れ込まない。海藻も育たない。すると二酸化炭素を放出する海の植物が死んでいる。イカナゴなどもいなくなって当たり前だ。禁漁期間を設けても解決できない。



千葉県館山市布良沖 2023年4月10日

(一社)神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支援物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日

午前10時～

神戸学生青年センター

本館1階

岩村義雄セミナー

毎月最終月曜日

午後6時半～

ミント神戸17階

編集後記

統一地方選前半では4人に1人が無投票当選。無投票で決着したことは将来について民衆が良い人を選ぶ民主主義の根幹が崩れています。

平穏に暮らしていた中東の農業地域を振り返ってみましょう。パレスチナなど一家の大黒柱がイスラエル、アメリカ、NATOによる無差別空爆が亡くなりました。歴史的背景を無視するわけにはいきません。つまり「テロ」(英語でKAMIKAZE「カミカゼ」は自爆攻撃)は大国が産み出した悲劇の産物でないでしょうか。リビアのカダフィ、アフガニスタンのビンラディン、「イスラム国」(IS)の最高指導者アブバクル・バグダディを殺しても「民主主義」はかの地で実現するどころか、前よりもっとテロが活発になっています。

「カヨ子基金」はそんな紛争地に自衛隊という軍事支援をするのではなく、孤児、夫をなくした独身女性、高齢の独居者に寄りそっています。皆さまのご協力を感謝します。



第36次球磨川(熊本豪雨)ボランティア出発前 左から村上裕隆、大島健二郎、松本真祐、野田健二、佐々木美和、畠祐生乃。

救援金、維持会費ご協力を感謝します。 (敬称略)

2023年1月15日～4月15日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、佐々木美和、石井泰代、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、アシュラムセンター、大島健二郎(4)、有田貞一&美榮子(2)、日本基督教団神戸栄光教会、森啓子、谷合公江、岡野彩子、長野晶朗、神戸YWCA、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、福田雄二(熊本県相良)、本田寿久(2)、宮坂信章、甲斐田敏、岩本久吉&眞子(福岡県松末)(3)、前川和弥、幸子、井本敦幸、宝塚栄光教会、岩間洋&千恵子(4)、乾祐子、池田裕子(2)、村田義人、千葉幸一(宮城県石巻市)(3)、永野由美子、西上千栄子(4)、神戸ユニオンプロテスタン教会、朝倉龍男、竹内喜子、若宮紀章(宮城県仙台市)、岡本毅一、岩崎靖彦、白瀬悦子、塩川成子(千葉県館山)、大西孝、藤原りつ子、保田薰(3)、在日本朝鮮兵庫県商工会、菅原千春、萩本義郎、宮崎直道、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、櫛津省一、内田周作、祐照寺(古川真照住職)、中川寿賀子、麻田光広、工藤香織、大國龍笙(伊去波夜和氣命神社宮司)、渡辺敏子、向井美香、豊原正尚(西福寺住職)、瀬尾美恵子、杉山紀之、宮本博美、今村佳代子(佐賀県大町町)、住友千代子、山本陽子(2)、ホン・ソング、日本基督教団久宝教会、深井雅子、星野尚子、岸田マサト、鳴田博信&礼子(千葉県布良)(3)、佐々木駿介、日野謙一、粕谷智美(千葉県館山市)、2.24「ウクライナに平和を」、日本基督教団鷹取教会有志、藤本保士、湯田薰、梶原睦、沖浦宏隆(千葉県布良)(4)、東原良学、高橋昇二、矢野寛子、なつめ保育園(熊本県相良)、緒方眞喜代、的野慶子、近藤洋、庄司慈明(宮城県石巻)、村上安世、土手ゆき子、土手朋、安西玲子、保田茂、梅木博光(金光教多良木教会)、大河戸章代、廣瀬素子(4)、(宗)大分カルバリー、上野友美、木村勝&木村ふみ子(石巻市)、武田喜久子、櫻井由里子、チャペルこひつじ、山本智也、高橋宏和、野田健二(3)、さかいようこ、加藤賢宗(石巻市淨音寺住職)、中山圭子、中北光子、樋口実&喜寿江(福岡県松末)、鶴崎祥子、森川正美、本田清実、丹野恵子(宮城県石巻市)、井本敦幸、高橋精巧、山本次子、佐藤紀子(宮城県多賀城)、濱名浩子、藤田希、ホームチャペルキリストの花嫁、匿名 626,879円

目録

一般社団法人 神戸国際支縁機構 捐



生活協同組合コープこうべ

匿名

626,879円

フードバンク関西、沖浦宏隆(千葉県布良)からひじき、黒川菊栄(千葉県布良)から貝、池田恵美子(千葉県館山市)から『まほろば』『館山のタカラガイ図鑑』など、樋口伸生(西光寺住職)から菓子、本田巧(宮城県石巻市)から海苔(3)、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔(2)、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からリポビタン一箱(2)、新堀隆義&美恵子(千葉県布良)から極小楽器、杣浩二から発電機、N.M.シャクルトンから寝袋など、梶原将繼(福岡県朝倉市寒水)から「ぶしゅかん」、梶原ミドリ(福岡県朝倉市松末)から梅肉など(2)、松末地域コミュニティ協議会からさつまいも、樋口実&喜寿江(福岡県松末)から菊芋など、山田徳次郎(熊本県相良)からさといも、鈴木馨(千葉県布良)から貝、阿部和子(宮城県渡波)からチョコレート、平塚宏行&淳子(宮城県渡波)から海苔、阿部和夫(宮城県石巻市)から麺、中村優子(佐賀県武雄市)からコーヒー、岸本豊からネギ、西上千栄子から毛糸帽など、小谷福哲&由喜枝(千葉県布良)から野菜、内海厚(宮城県渡波)から海苔

大阪大学大学院で3月に2種類の発刊物が被災地での現状を訴えました。

- ①『自然の回復、ひととの共生』
 - ②『災害と共生』6巻第2号
- (緒方俊一郎氏、保田茂氏、(佐々木美和)
岩村義雄氏)

【大学予定】岩村義雄は5月11日、関西学院大学、16日には関西大学でウクライナ報告を行う。